

スルメイカTAC管理について

令和8年3月
水産庁

令和7管理年度スルメイカのTACの配分等

	当初 配分数量	3/10時点 配分数量 (A)	3/10時点 漁獲量 (B)	B/A	超過数量 (B-A)
沖合底びき網漁業	2,600トン	7,795トン	7,669トン	98%	-
大中型まき網漁業	600トン	786トン	565トン	72%	-
大臣許可いか釣り漁業	2,300トン	2,831トン	1,745トン	76%	-
小型するめいか釣り漁業	2,800トン	5,757トン	8,134トン	141%	2,377トン
北海道	1,300トン	4,447トン	3,140トン	69%	-
富山県	700トン	915トン	203トン	22%	-
(12/8以降) 長崎県	目安数量 (550トン)	1,523トン	366トン	24%	-
(12/8以降) 山形県	目安数量 (105トン)	131トン	72トン	55%	-
(12/8以降) 兵庫県	目安数量 (50トン)	96トン	28トン	29%	-
(12/8以降) 鳥取県	目安数量 (50トン)	196トン	48トン	50%	-
(12/8以降) 山口県	目安数量 (50トン)	96トン	23トン	24%	-
「現行水準」の府県	2,200トン	1,627トン	5,200トン	320%	3,573トン※
合計	12,500トン	26,200トン	27,192トン	104%	992トン
TAC総量	19,200トン	27,600トン	27,192トン	99%	-

※詳細は次のスライド

	当初	追加 (9/19水政審)	追加配分した数量	残量 (3/10時点)
留保	6,700トン	6,600トン	9,500トン	1,400トン
	当初	追加 (9/19水政審)	追加 (11/5水政審)	3/10時点
TAC総量	19,200トン	6,600トン	1,800トン	27,600トン

○ 3月10日時点の留保の残量(1,400トン)の内訳

・追加配分の見込み
富山県 400トン×3回 1,200トン

・超過リスクに
備えた国の留保 200トン

令和7管理年度TAC報告数量（「現行水準」の府県）

	目安数量(※) (A)	3/10時点 漁獲量 (B)	(B)/(A)
青森	305	1,498	491%
岩手	188	1,320	702%
宮城	100	709	709%
秋田	50	35	69%
福島	50	18	35%
茨城	50	236	471%
千葉	100	69	69%
神奈川	50	38	76%
新潟	186	144	78%
石川	361	294	81%
福井	50	35	70%
静岡	100	90	90%
愛知	50	26	51%
三重	100	108	108%

	目安数量(※) (A)	3/10時点 漁獲量 (B)	(B)/(A)
和歌山	50	36	72%
京都	50	16	31%
島根	124	130	105%
徳島	10	15	155%
愛媛	50	71	142%
高知	50	226	452%
福岡	50	16	33%
佐賀	10	2	21%
熊本	10	3	25%
大分	10	4	42%
宮崎	10	61	611%
鹿児島	10	2	16%

「現行水準」の府県全体の配分数量①	1,627トン
「現行水準」の府県全体の漁獲量(3/10時点)②	5,200トン
消化率(②/①)	320%
超過数量(②-①)	3,573トン

(※)表中の数値が10、50及び100となっている府県は、以下を意味する。

10: 基本シェアを用いて計算した数量が10トン未満の場合又は令和3年から令和5年の漁獲実績の平均が1トン未満の場合

50: 基本シェアを用いて計算した数量が10トン以上50トン未満の場合

100: 基本シェアを用いて計算した数量が50トン以上100トン未満の場合